

環境福祉経済委員会協議会市内被災地視察報告書

市内被災地視察における調査結果について、下記のとおり報告します。

平成30年9月14日

光市議会議長 木村信秀様

光市環境福祉経済委員会協議会

委員長 森戸 芳史

副委員長 萬谷 竹彦

委員 磯部 登志恵 (副議長)

委員 大田 敏司

委員 岸本 隆雄

委員 笹井 琢

委員 西村 憲治

随 行 寺尾 貴志 (事務局)

随 行 松尾 真 (事務局)

記

- 1 研修年月日 平成30年8月2日(木)
- 2 視 察 先 7月豪雨による市内被災地
- 3 調査結果等 別紙のとおり

1 視察目的

平成30年7月豪雨により光市においても甚大な被害が発生しました。光市議会では7月17日と27日に全員協議会を開催し、8月3日には災害復旧に関する要望書を光市長に提出いたしました。光市議会環境福祉経済委員会協議会ではより詳細に被災状況を把握し委員会活動に活かすため被災地の視察を行いました。

2 視察日時 平成30年8月2日（木）9時から12時まで

3 視察先 西の河原、木下橋周辺、三島コミュニティセンター、小野橋周辺、小周防ライスセンター周辺、旧さつき幼稚園駐車場、横尾川、溝呂井川

①西の河原川



②島田川木下橋周辺



③三島コミュニティセンター



④小野橋周辺



⑤小周防ライスセンター周辺



⑥旧さつき幼稚園駐車場



⑦横尾川



⑧溝呂井川



4 所 感

森戸芳史

全議員が災害個所の共通認識を持つことが出来た。今後も復旧の進捗を注視したい。

萬谷竹彦

被災地現地の視察に行き、あらためて自然の力のすさまじさを感じました。

自然の力の前では人間の無力なんだと感じざるを得ませんでした。

今回は床上・床下浸水等の被害も多く、故に河川の災害が多く、復旧にはまだまだ時間がかかると思いました。早急な取り組みが必要で、そのために必要な対応をしていかなければとも思います。あらためて常日頃からの注意、確認、避難訓練の必要性も感じた視察になりました。

磯部登志恵

7月豪雨災害の被災地を視察したが、発生から1ヶ月が経っても爪痕が残っている状況を見て、被害の大きさを改めて痛感した。

まずは、越水した川の周辺、決壊した川土手からの影響、小野橋付近の様子などをみたが、復旧した場所、着実に工事が進められている木ノ下橋付近の道路など、被害の大きさを再確認できた。

しかし、復旧が進んでいない橋・河川・山林や未だ通行止めになっている道路などもあり、復旧の目処がなかなか立ちにくい現状も目の当たりにした。

また、床上床下浸水が多かった地区の復旧状況なども確認できたが、周りの田畑の状況なども含め、猛暑の中での復旧には様々な面で心配が残る。災害ごみ置き場などは、少しずつ処理されており、6日以降は閉鎖されエコパークに集約されると聞き安堵した。

今後は、身近な市民の声にも耳を傾け、着実な復旧復興に取り組んでいきたい。

大田敏司

去る、8月2日に7月6日の光市に起きた、豪雨災害の被害状況を市内行政視察しました。

市内を歩いてみますと、いかに自然の力が、ものすごいものであるかと、まざまざと見せつけられた感じがしました。我々人間がいかに頑張っても自然の力に立ち向かってもままならないと感じたものでした。しかし、ここで、いかにして今後の防災を高めていくかは、我々人間にかかっていると思われまます。加えて、想定外、想定内にかかわらず、災害が起きた後の対処をいかにして整えるかが、今後の課題であると痛感しました。

岸本隆雄

まずもって、この度の豪雨で被災された方に、心よりお見舞い申し上げます。

今回、7か所を視察しましたが、それまでに個人でいろいろな被災地を見て回りました。また、被災された方のお話もお聞きしました。小周防地区に長年住んでいらっしゃる70代の方のお話しです。「島田川の氾濫と、床上60cm、避難指示があり避難所へ避難しました。生まれて初めての経験です。今は、家の片付けで精一杯で外回りの事に手が回りません。県道の側溝に溜まった泥の撤去をお願いしたい。」とのことでした。

私は、一日程災害ボランティアに参加させて頂き、床下、側溝の泥の撤去を炎天下のもとで経験いたしました。20分活動したら20分休憩しなければならないような苛酷な状況でした。

被災された方のご要望、ご意見をお聞きして、一日も早く復旧出来る様に行政に働き掛けていく事が大切だと思いました。

最後に、この度の災害でのいろいろな出来事を検証し、次の災害に役立てることが大切だと思いました。また、市議会議員として、何をすべきか検討すべきだと考えます。

笹井 琢

7月7日に発生した水害について視察等を行い、防災や河川管理について疑問や意見をまとめたものを列記します。

①河川の決壊箇所は、誰が確認してどのように連絡するのか？ 2級河川を管理する県土木建築事務所と、光市役所の連携は充分であったか？

②小野橋や旭橋のような沈下橋（潜水橋）を、今後も使い続けるのか？ 洪水時に支障になるので撤去すべきと考える。

③島田川の上流に位置する中山川ダムが果たした役割について、県からアナウンスがない。ダムの果たした役割について流域住民にわかりやすく公表すべきである。

④河川敷地内に個人所有物が設置されてないか？ 無許可の人道橋が設置されていないか？

⑤ハザードマップで浸水が予想されている地域の住宅開発について、浸水があった場合の責任は持ち主だけが負うものか？

⑥避難所や役所が浸水した場合の業務継続制については、どこまで対策がとれるのだろうか？

土橋啓義

百聞は一見にしかず。今後の委員会や本会議での質問に活かしていきたい。

西村憲治

- 1 西の河原川 河川土砂の早期浚渫と中洲の撤去を要望します。
- 2 木下橋 応急処置が済んでいるので安心しました。
- 3 三島コミセン ごみ撤去が進んでいるのに感心しました。
- 4 小野橋付近 小野橋の撤去を強く要望します。
- 5 小周防ライスセンター 河川付近のごみが撤去され安心しました。
- 6 旧さつき幼稚園 ごみ撤去の急進に感心しました。
- 7 横尾川 護岸崩壊に圧倒されました。
- 8 溝呂井川 護岸崩壊に圧倒されました。
- 9 ヘルメット・作業服・手袋・ベルト・安全靴などの装備の点検が出来ました。